

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	H.I	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学年	4年	派遣国	イタリア
派遣大学	Ca' Foscari 大学		
期間	2021年 8月 31日～ 2022年 8月 10日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / <u>アパート</u> / その他 (一軒家)					
部屋	個室 / <u>2人部屋</u> / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎・○	シャワー	◎・○	洗面所	◎・○
	キッチン	◎・○	冷暖房	◎・○	冷蔵庫	◎・○
滞在費	約 (4万2千) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(バスと徒歩) で、約 (30) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	約3万円	
学用品購入費	約1500円	教科書
交通費	約2300円	定期は1年で€200か250
交際費	円	法人ではないので交際費はありません…
その他	約4万円	外食、服、旅行等

合計

約7万4千円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

島の外は治安が悪い。特に駅の近くは危険で、ドラッグ使用者が沢山いるし夜中までうるさい。アパートの入り口に薬物使用者がたむろしていることも多々あり、ドアが破壊されたこともあった。島の中でも1度レイプ未遂事件があった。

スリ等はどこにでもいるが島外の駅付近以外は基本的にそこまで治安は悪くはない。

3. 医療について

(1) 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(12) ヶ月間	保険料	() 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (ヴェネツィア) イタリアの北東部、アドリア海・ヴェネツィア湾に位置する小さな水上都市。水路で入り組んでいるため、移動手段は徒歩もしくは船(ヴァポレット/タクシー/ゴンドラ)のみ。しかし本土とは道路でつながって居るため、島の入り口まではバス、車、電車、路面電車、自転車等で来ることができる。中心部にカナル・グランデ(大運河)が流れており、そこを中心に交通網が発達している。カナル・グランデにはリアルト橋がかかっていたり、その近くに市場があったりして観光客で賑わっていた。2月にカーニバルがあるため、冬に特に観光客が多かったと思う。多くの都市や国に旅行してきたが、ヴェネツィアが1番美しかった。
--

【学業編】

1. 大学情報

大学	Ca' Foscari	所在地	ベネチア
最寄空港	マルコポーロ空港	空港からの距離	1時間くらい
空港⇄大学	(バス・タクシー) *移動手段		
学生数	21000	留学生数	?
学部	Department of economic Department of philosophy and cultural heritage Department of management Department of environment sciences, informatics and statics Department of molecular science and nanosystems Department of Asian and north African studies Department of humanities Department of linguistics and comparative cultural studies *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Department of linguistics and comparative cultural studies *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	lettorato				日本語
午後	ゼミ (横市) イタリア語	Lingua Inglese	イタリア語 日本語		

② (2)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後	ゼミ (横市)	Lingua Inglese	Anglo-American Language	日本語 日本語	

3. 履修内容

科目 (和訳)	英語		
履修期間	前期	単位数	6
授業内容/形態	対面とオンライン授業。英語がどのようにして世界に広まっていったかについて。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目 (和訳)	イタリア語		
履修期間	前期	単位数	6
授業内容/形態	A1 レベルのイタリア語。アルファベットの読み方から過去形など。テストは作文と会話。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		

	担当教員	
--	------	--

科目（和訳）	英語 2		
履修期間	後期	単位数	6
授業内容／形態	言語学。英語の発音や舌の動かし方、口内の空間構造についての専門的な内容。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	日本語自由会話		
履修期間	通年	単位数	6
授業内容／携帯	30人弱のクラス。日本語学習者のサポートで期末発表等も一緒に行った。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

【総括】

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

渡航前は楽しみよりも不安の方が大きかった。異国で暮らすことに対する不安はなかったが、他人との共同生活や言語面はかなり不安があり、バディが空港まで迎えに来てくれた時も正直緊張でほとんど話せなかった。しかしいざ生活が始まってみれば、ハウスメイト達とは親友になり、授業も完全に理解できたとは言えないものの、予想していたほど酷くはなく安心したことを覚えている。特にイタリア語は独学で少し勉強していたため授業についていくことができた。もしも予備知識が全くない状態でのぞんでいけば途中で心が折れて不登校になっていたと思う。というのも、アルファベットの読み方から学習するほどの初級コースにも関わらず、初回から全てイタリア語で行われたからである。私は事前学習のおかげで授業中にもそれなりに発言することができ、最終的な成績もよかった。1度だけ知らない文法を習う授業があったため、その前日には図書館にこもって6時間ほど予習をしていた。他の授業も、受講人数が多く発言こそできなかったものの、授業の映像をなども見返すなど復習をかかさなかった。それにも関わらずテストで7割ほどしか取れなかったのは、恐らく英語の筆記問題が原因だと思う。授業内容だけでなく、文法やスペルミスも全て減点されるため、渡航前にもう少し英語のスコアを挙げておけばよかったと後悔した。しかし全体的に見れば、「なんとかなる」ということが最大の気づきであったと言える。

ハウスメイトに関しては完全に運だと思うが、本当にいい人たちに恵まれたと思う。特に仲の良かった人たちは今でも毎日のように連絡を取り合っている。ただ治安や衛生面が理由で留学中に2度も引っ越すことになったが、それも含めていい経験ができた。かなり柔軟な性格のため、元々カルチャーショック等は心配していなかったが、予想していた通り深刻な問題が発生することもなく文化の違いを楽しむことができた。ただ衛生観念の違いはやはり問題だったが、これは文化の違いというより個人的な問題であろう。引っ越した先ではあまりハウスメイトと仲が深まることはなかったが、最初のところよりかなり治安がいいところだったので暮らしやすかった。そこからもう一度引っ越したのだが、それは完全にコネと運が良かったことで、ヴェネツィアの中心部、サン・マルコ広場のすぐ近くに住むという貴重な体験ができた。授業以外の生活での最大の発見は、流れに身を任せることも時には必要ということである。特に、カルチャーショックが発生しうるような場面においては、ただ流れに身を任せてその状況を楽しむべきだと実感した。

1年を振り返ると、今までの人生で一番充実していたと思う。ここでの経験や出会いは大きな財産となり、今後の人生において背中を押してくれるものとなるだろう。異国の地で母国語以外の言語を使って生活し、勉強をしながら友達まで作るというのはそう簡単なことではないと思うが、留学とはこの環境に放り出されることであり、有難い機会である。この成功体験は確実に私を成長させ、自身に繋がったと感じる。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

今後は留学先で得た経験を活かし、様々なことに挑戦していきたい。第一に、今後も英語力の向上に努めていきたい。渡航前は IELTS の OA が 6.0 であったが、帰国後にもう一度受けてみると OA6.5[L:6.5, R:8, S:6, W:6]に伸ばすことができた。しかしここで満足することなく、今後も精進していくつもりである。現在の目標は OA7.0 で、全てのセクションで 6.5 を取ることであり、そのためにも毎日英語に触れるようにしている。具体的には、外国人とシェアハウスをして暮らし始めた。留学前は人と住むことなど考えられなかったが、留学でのシェアハウス経験を通じて少し見方が変わったようだ。また、留学先で出会った人とほとんど毎日電話をして英語を使うように心がけている。

現在は卒業論文の執筆で忙しいが、その後は英語を使う職に就きたいという漠然とした目標ができた。そのためにも上述の目標に向けて精励恪勤していくつもりだ。また、それ以前には院進することも視野に入れており、自分のできることに全力で取り組んでいきたいと思っている。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

もしも留学するかしないかで悩んでいるのであれば、私は留学することをお勧めする。正直に言えば、私は留学していた1年間がこれまでの人生で一番「生きている」と感じた時間だった。私は卑屈なところがあり、留学で人生が変わるなど安っぽい嘘だろうと思っていたが、実際他の国から来た留学生たちと友達になった事で、例えば日々の世界情勢を報じるニュースを急に身近に感じるようになったなど、自分に多くの変化があった事を実感している。私はかなり、非常に、恐らく世界一運が良い留学生であったため一概には言うことはできないが、行って後悔することはそうそうないと思う。あったとしても、行かずに後悔するよりはずっとましだろう。もし迷っているのであれば、是非どちらが最善かを考えて一歩踏み出してみてほしい。

たかが1年間留学しただけなので大したアドバイスや気の利いたことは言えないが、社会に出る前に一度世界を見ておく事で得るものは多いだろうし、行く前は不安でもきっと終わってみれば全てなんとかなったと思えるだろう。ぜひ残りの大学生活で後悔しない道に進んでほしいと思う。